

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程デジタルクリエイター科	1	デジタル録音技術Ⅰ	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	辻田勝宣	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
[実務経験歴]			
アーティスト楽曲REC、MIX、Mastering TV、CM用楽曲REC、MIX、Mastering パチンコ、パチスロ遊戯台用楽曲作成			
単位数（授業の回数）	時間数☒	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）	60 時間	<input type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/> 通年	<input type="radio"/> 必修 <input checked="" type="radio"/> 選択
[授業の目的・ねらい]			
①デジタル音声とアナログ音声の違いを理解する ②デジタル録音機材の理解 ③デジタル録音環境の理解 ④デジタル録音の各種技法の習得			
[授業全体の内容の概要]			
①音声信号について ②デジタル録音機材の種類、使用方法について ③録音環境について ④録音方法について			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
2年次に向けてのデジタルレコーディング環境の構築、運用を身につける			
[準備学習の具体的な内容]			
毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業終了時には、講義内容の確認と次回の授業内容を説明し、復習・予習ができるようにする。			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト 音響映像設備マニュアル(リットミュージック) 参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	アナログ音声信号とは		
2回	デジタル音声信号とは		
3回	アナログ音声とデジタル音声の違い		
4回	デジタル録音機材とは		
5回	デジタル録音機材の種類		

6回	デジタル録音機材の使用方法1
7回	デジタル録音機材の使用方法2
8回	まとめと振り返り
9回	デジタル録音機材の使用方法4
10回	デジタル録音機材の使用方法5
11回	デジタル録音環境とは
12回	デジタル録音環境の構築について1
13回	デジタル録音環境の構築について2
14回	デジタル録音環境の構築について3
15回	まとめと振り返り
16回	デジタル録音環境の構築の運用について1
17回	デジタル録音環境の構築の運用について2
18回	デジタル録音技術について1
19回	デジタル録音技術について2
20回	デジタル録音技術の実践1
21回	デジタル録音技術の実践2
22回	まとめと振り返り
23回	デジタル録音環境での実践1
24回	デジタル録音環境での実践2
25回	デジタル録音環境での実践3
26回	デジタル録音環境での実践4
27回	デジタル録音環境での実践5
28回	デジタル録音環境での実践6
29回	デジタル録音環境での実践7
30回	まとめと振り返り